Creative Enzymes®

ネイティブ豚ホスホリパーゼA2

Cat. No. NATE-0587

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	ホスホリパーゼA2（PLA2）は、双性イオン性グリセロホスホリピッドのβ-エステル結合を加水分解します。好まれる基質は、ホスファチジルコリン、ホスファチジルエタノールアミン、およびそれらのプラズマロゲン類似体です。ホスファチジルイノシトールとホスファチジルセリンも加水分解されます。PLA2は、完全な細胞の膜中のホスホリピッドに□して積極的に攻□します。PLA2は、ホスホリピッドのsn-2アシル結合を特異的に認識し、触媒的に結合を加水分解してアラキドン酸とリゾホスホリピッドを放出します。
別名	ホスホリパーゼA2; EC 3.1.1.4; 9001-84-7; レシチナーゼA; ホスファチダーゼ; ホスファチジオリパーゼ; ホスホリパーゼA; PLA2; ホスファチジルコリン2-アシルヒドロラーゼ; PLA2s

製品情報

種	豚の
由来	豚膵臓
形態	タイプI、硫酸アンモニウム懸濁液；3.2 M (NH4)2SO4 溶液中の懸濁液、pH 5.5；タイプII、懸濁液、オフホワイト。
EC番号	EC 3.1.1.4
CAS登□番号	9001-84-7
活性	タイプI、> 600 ユニット/mg タンパク質。
代謝□路	アラキドン酸代謝、特定生物系; アラキドン酸代謝、保存された生物系; エーテル脂質代謝、特定生物系; エーテル脂質代謝、保存された生物系; 脂肪の消化と吸収、特定生物系; 脂肪の消化と吸収、保存された生物系; FcエプシロンRIシグナル伝達□路、特定生物系
単位定義	1ユニットは、pH 8.0、37°Cで、1.0 μmoleの大豆L-α-ホスファチジルコリンをL-α-リゾホスファチジルコリンと脂肪酸に加水分解します。

保管・発送情報

保存方法	−20°C